



飯能ロータリークラブ会報



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida



イマジン ローター

RI会長 ジェニファー E. ジョーンズ

第2570地区ガバナー 村田 貴紀

第3グループ
ガバナー補佐 白井 威

地域と世界でつながる力を磨き奉仕を実践しよう!

第3068例会 2023. 6. 7

—— 親睦活動月間 ——

天候 晴 (NO. 59-49)

会長 矢島高明 幹事 市川 昭

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 田辺君、高橋君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 矢島高明会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト唱和 半田職業奉仕委員
- ・ビジター(日高)RI第2570地区
2022~23年度
第3グループガバナー補佐
白井 威様
(日高)会長 鈴木敏藏様
幹事 長谷川 悟様
- ・卓話 木川一男会員

【会長報告】

先程理事会で、吉田健、小谷野正弘、塩川恭浩、坂本厚会員の退会届を受理致しました。また、クラブ細則「選挙と任期」「会員選挙の方法」を一部変更。次週文書を配付しますので必ず目を通して頂きご理解を頂きたいと思ひます。

◎財団よりベネファクター表彰 田辺 實会員

【幹事報告】

第13回理事会を開催。前回議事録確認。退会会員4名の承認。細則変更2件の承認。

◎例会変更のお知らせ

◇人間南RC

・6/27(火) 例会取止め(定款8-1-C)

◎白井ガバナー補佐ご挨拶

皆様のお蔭でここまで来られました。新旧

会長幹事会の開催が補佐としての最後の仕事となっております。4/15パストガバナー会・ガバナー補佐・危機管理委員会の3団体は、村田ガバナーの解任要求を決議し、RI日本事務局に通知。RIはガバナーにヒアリングを行い、ヒアリング開始より30日以内に結論が出される事になっています。今年度、ガバナーは9月の地区大会で実質400万円の赤字を計上し、地区代表幹事に責任を転嫁、青少年交換プログラムの担当会員への人権侵害等で辞任勧告を受けたものの折り合わず、今回の通知に至りました。5月のメルボルン国際大会では他地区のメンバーからもその話題が出されました。話は広まっている状況です。以上経過報告です。ご承知おき下さい。

◎日高RC鈴木会長ご挨拶

今年度は創立40周年の祝賀、合同コンペ、合同例会と、多くの時間を共有させて頂き有難うございました。小さなクラブながら式典には100名超のお客様をお招き出来ました。飯能RCの温かいご支援の賜物と感謝しております。今後共ご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

【委員会報告】

◎次年度幹事

神田君

本日、第1回理事会です。「年度計画書」の修正等は例会後に事務局に提出して下さい。

◎会計

吉島君

各委員会は事務局にて精算をお願いします。

◎親睦活動委員会

五十嵐君

次週、夜間例会は18時開始。楽しい時間をつくっていきたいと思ひます。

【出席報告】無届欠席2 細田(吉)出席向上委員

会員数		当日	
全数	対象	出席数	出席率
73名	5名	62名	84.93%

【M U】

5/31 (地区) 都築君

【結婚・誕生日祝】 鳥居親睦活動委員

- ◇入会記念日おめでとう
新井君、藤原君、中山君、福島君、本橋君
伊澤君、鈴木(康)君、天ヶ瀬君、木川(泰)君
- ◇結婚記念日おめでとう
天ヶ瀬君、内沼君、坂本(淳)君、皆川君
- ◇会員誕生日おめでとう
馬場君、森君、新井君、半田君
鈴木(康)君、和泉君、大木君
- ◇夫人誕生日おめでとう
安藤夫人、山口会員(母)、杉田夫人
森田夫人、矢島(高)夫人、前島夫人
大野(正)会員(母)

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・先週カナダ旅行の記念映写会に体調不良のため直前欠席してご迷惑をおかけ致しました。大木君
 - ・誕生日お祝い有難うございます。大木君
新井君、半田君、馬場君、森君、鈴木(康)君
 - ・ようこそ白井ガバナー補佐、鈴木会長、長谷川幹事様。本年度はたいへんお世話になりました。有難うございます。
矢島(高)君、高橋君、田辺君
 - ・先日のゴルフで優勝しました。矢島(高)君
 - ・妻の誕生日お祝い有難うございます。
矢島(高)君、前島君
 - ・結婚記念日お祝い有難うございます。
内沼君、皆川君、坂本(淳)君、天ヶ瀬君
 - ・入会記念日お祝い有難うございます。
本橋君、伊澤君、福島君、鈴木(康)君
新井君
 - ・木川先生、卓話よろしくお願ひ致します。
矢島(高)君、高橋君、新井君
 - ・早退します。吉島君
 - ・大学院1年、砲丸娘、日本選手権3位入賞です。大野(康)君
 - ・一年間お世話になり有難うございました。
(日高)鈴木会長、長谷川幹事
 - ・今年一年お世話になりました。残りわずかですがよろしくお願ひ致します。
白井ガバナー補佐
- 本日計 86,000 円、累計額 928,000 円。
◎ 14 日例会当番は土屋、都築会員です。

【卓話】

講師紹介 新井クラブ奉仕委員長
飯能高校は大正 11 年の設立で、卒業生は 2 万 5 千人以上。RC メンバーの中にも卒業生、関係者は大勢いらっしゃるのではないかと思います。
木川会員は S 32 年に中央大学第一経済学部を卒業され、現在、中央大学商議員の役職にあります。公職として、はんのう市民環境会議顧問。また、飯能グリーンカントリークラ

ブ名誉理事長です。RC 歴は、H 2 年 1 月入会より 33 年が経過。H 21 年 7 月に第 46 代会長に就任。2017~18 年度 RI 第 2570 地区第 3 グループガバナー補佐を務めました。H 30 年、講道館の柔道六段に昇段。現在、紅白の帯をされています。趣味はゴルフで、飯能ゴルフクラブ、飯能グリーンカントリークラブ、武蔵カントリークラブ、箱根カントリー倶楽部のメンバーです。飯能靖和病院、飯能整形外科病院、飯能老年病センター、フェリーチェレディースクリニック吉祥寺、4 か所の医療機関の靖和会グループの会長で、4 人のお子さんは皆、医師をされています。H 9 年、社会福祉法人靖和会を設立、狭山市で H10 年、特別養護老人ホームつつじの園、H 20 年、特別養護老人ホーム第二つつじの園、入間市で H 27 年、特別養護老人ホーム入間つつじの園の事業を開始。清和会グループ会長として 25 年目となりました。R 4 年 11 月 14 日、埼玉会館(さいたま市)で「令和 4 年度 県民の日記念式典」が行われ、大野知事より社会福祉功労者として表彰されました。

**埼玉県立飯能高等学校
創立100周年記念事業を終えて**

飯能 RC 木川一男 会員



背骨を 3 か所手術して 10 年位経っているのですが、90 という高齢のため座位にてお話をさせて頂きます。

私の母校であります、埼玉県立飯能高等学校の創立 100 周年記念事業をテーマに話をさせて頂きます。この長い歴史を刻

む間には、国内・国外において大きな出来事がありました。その時々の時代背景や私自身の高校生活も含めてお話ししたいと思います。

私は男女共学になった 74 年前、昭和 24 年 4 月に男子の一期生として入学致しました。近年は中学卒業後、100% 近くの人が高校に入学しておりますが、当時、全国的には男子の半数位が高校に進学していたのではないかと感じております。私が育ちましたのは日高市、高麗でございますけれども、当時高校へ行く者は数えるほどでした。今年 90 歳になられる上皇陛下(明仁様)とは同い年ですけれども、陛下は学習院高等科に入学されております。

前年まで女子高だったものですから、私が入学した時には同学年の 3 分の 2 が女子で、2 年生・3 年生は全て女子でしたので非常に戸惑いがあったように記憶しています。

当時、飯能には農蚕・商業を学ぶ「飯能実業高等学校」(現在の聖望学園高等学校)がございました。前身は「寿多館(すだかん)蚕業学校」で、養蚕業は良質な生糸を生み出すということで貴重な収入源となっており、飯能

周辺には養蚕農家が多く、その後継者を育成するための学校でした。私が育った高麗でも桑畑が多く、学校の帰りなど、よくドドメ(桑の実)を頬張っていたことを思い出します。また、隣の豊岡町(現在の入間市)にも農業・商業を学ぶ「豊岡実業高等学校」(現在の豊岡高等学校)があり、農業が盛んであったことが伺われます。私は、大学への進学も考えていましたので、普通科のあった飯能高校に入学したわけでございます。

高校時代の自分を振り返りますと、入学早々軟式テニスクラブに入り、2年になった時には友人3人と柔道部を創り、稽古に明け暮れる日々を過ごしました。私は小学5年の時から豊岡町の「小島道場」に通っており、柔道部を創った時にはすでに講道館柔道二段に昇段しておりました。当時、県内の高校生で二段は私と深谷商業高校の生徒と、2人だけでした。彼とはたまに電話のやりとりがございまして懐かしさを感じます。また、卒業が近くなった頃には、友達と『無花果(いちじく)』という題名の本を出しました。文学的な分野にも惹かれており、高校生活を謳歌していたように思っています。手前味噌になりますが、飯能高校の体育歌は、当時応援歌として一般募集があり、私が応募した作詞が1位に入選して採用されたものです。65年前の事ですが今も体育歌として歌われております。現在の校歌を作詞したのは、私の同窓生で、飯能市の文化人として知られている町田多加次氏です。

当校の歴史は、1922年(大正11年)に飯能町ほか周辺の9か村が学校組合を設立して「組合立飯能実科高等女学校」を開校したのが始まりです。その後、埼玉県に移管され(昭和5年)、教育制度改革を経て、昭和23年4月に定時制課程普通科が新設、翌年の昭和24年に男女共学となり、「埼玉県立飯能高等学校」と改称され、今日に至っています。

県内の県立高校としては浦和高校と熊谷高校が明治28年に設置。その後、川越高校、春日部高校が続きます。女子高校では明治31年に浦和第一女子高校、明治後半には川越女子高校、熊谷女子高校などが設置され、現在でも名門校として知られています。多くの高校は昭和期の設置ですので、大正11年設置の飯能高校は古い方に入ります。

時代が進むに従い、出生数が増え、国も教育の充実に力を入れるようになり公立・私立共に学校数が増えていきましたが、近年は少子化により学校の統廃合が全国的に進んでおります。昭和22年から24年にかけては出生数が年270万人近くに及び“団塊の世代”と言われておりますが、現在は年80万人位、約70%減とのことで、将来が憂慮されている状況です。昭和53年に飯能市内2校目の県立高、飯能南高等学校が設置されましたが本年4月に飯能高校に統合され、44年の歴史の幕を閉じました。統合となった新校の学校名が一時取り沙汰されましたが、現在の校名で決まり、基本理念は「進学を重視した地域と協働する高校」とし、教育内容も大きく変えて時代が求める内容で対応していくとのこと

と聞いております。現在の矢島校長は強く「進学を重視したい」とおっしゃっております。

私が入学した時は使われていませんでしたが、学校の近くに、吾野駅を終点とする西武池袋線の「天覧山駅」がありました。観光客用に作られたようで天覧山に向かう通りや駅の名残りが今もあります。廃駅になる以前は、多くの女学生がこの駅を利用して通学していたということを先輩から聞いております。

また、天覧山裏手の多峯主山の登り口に生育している「ハンノウザサ(飯能笹)」は、昭和16年に県指定天然記念物となっておりますが、現在、NHKの朝ドラ「らんまん」の主人公のモデルで、日本の植物学の父と言われる、牧野富太郎博士によって発見された笹です。牧野博士は江戸末期の生まれですから、70代後半に来飯した時には「天覧山駅」を利用していたのではないのでしょうか。当時、新聞でも大きく取り上げられ話題になったようです。

今日までの歴史を歩む間には皆さんもご存じのように国内外で大きな出来事がありました。学校を設置した翌年の大正12年には関東大震災が発生。死者・行方不明者10万5千人強という大災害でした。当時の吾野村では在郷軍人会と青年団で約200人が組織され、救護活動と支援に赴きました。その時の写真が飯能日高消防署に展示されていますが、鉄道は池袋から飯能までしかなく、車も普及していない状況の中ですから、大変な行程だったと思われま

す。昭和に入ると、世界恐慌や満州事変、日中戦争、欧州では第二次世界大戦が勃発。諸外国との政治や経済分野において難しい状況に置かれた日本は、やむなく昭和16年12月8日、3年9か月に及ぶ大東亜戦争に突入することになりました。私が高麗村の国民学校初等科2年生の時です。全校生徒が集まる朝礼で校長先生が声を震わせながら挨拶した後、先生方と生徒全員が皇居に向かって頭を垂れたのを覚えています。東京が焼野原となった東京大空襲の時には、東の空が真っ赤に染まっていたことを多くの方が見ていると思います。また、飯能にも戦闘機グラマンが飛来し機銃掃射で7名の方が亡くなったと聞いております。長い日本の歴史の中では最も過酷な時代だったのではないかと思います。

敗戦は、真夏日の昭和20年8月15日正午にラジオから流れる玉音放送を正座して聴き、知りました。私が小学校6年生の時でした。

国の命運を左右した事変や戦争は遠い過去の出来事になりましたが、各地域から出征し戦死した兵士の記念碑は全国にあり、飯能市内の神社やお寺などにも忠魂碑、忠霊碑が建てられています。また、戦後78年経った現在でも東南アジアなど、海外での戦没者の遺骨収集が行われており、240万柱のうち112万柱が収集されていません。悲惨な歴史を伝えるように思います。

今、ロシアの侵攻によるウクライナとの戦争の状況が毎日報道されていますが、同様に国の命運を左右する過酷な状況に置かれた中でも当校は歴史を刻んできました。当時、在学中で、初代生徒会長を務めた落合登美子さん

(東吾野)にお聞きした話では、長刀での心身鍛錬による体力づくり、学徒勤労員で工場へ行く毎日で、勉強どころではない日々を送っていたとのことでした。

昭和22年2月には八高線・東飯能駅と高麗川駅間で車両の脱線転覆事故があり、死者188人・重軽傷者577人という大惨事となりました。敗戦による食糧難の時、6両編成の車両はすし詰めで、屋根にも人が乗ってありました。「買い出し部隊」という言葉があった時代でした。私は中学2年生で、現場を見に行きましたが、花嫁姿のまま亡くなられていた人がいたのを覚えています。

終戦から5年後、私が高校2年生の時、朝鮮半島において韓国と北朝鮮の間で朝鮮戦争が勃発しました。当時、大東亜戦争の敗戦の影響で日本は疲弊した経済状況でしたが、アメリカから大量の軍需物資の注文があり、この特需景気が経済復興の発端になったと言われております。

昭和30年代に入っても経済成長は続き、東京タワーの竣工、東京オリンピックの開催など、戦時中の記憶が薄れるように経済は繁栄し続け、日本は経済大国として世界に認められるようになりました。

改めて100年という歳月は、社会や環境を大きく変えていくものだと感じます。飯能高校はこうしたさまざまな状況の中で脈々と歴史を重ね、卒業生は25,000人を超えるまでに至っております。卒業生の中には、私の1年後輩になりますが、東京大学に進学した後、“世界のトヨタ”と言われるトヨタ自動車の副社長・日野自動車の会長を務めた、南高麗から通学していた大木島氏をはじめ、中小企業の経営者として活躍している方、スポーツの分野でもプロ野球界、プロゴルフ界で名を残した方、マラソンでシドニー五輪に出場した方など、経済、政治、芸能、文芸等、さまざまな分野で多くの方が活躍されています。また、インターハイでは弓道(団体)、レスリングや陸上競技(個人)での優勝など、輝かしい実績を残しており、近年でも、チアダンス全米選手権で準優勝という成績を残しました。

この歴史を背景に、令和4年に学校設立100年という節目を迎えることから、平成28年11月に実行委員会が組織され、記念誌部会、総務部会、祝賀会・イベント部会、名簿部会を置き、準備を進めて参りました。私は、共学になった時の1期生という事からでしょうか、会長を仰せつかり、6年務めて参りましたが、高齢でもあることから会長職には不安を感じましたが、母校への思い入れや、高校一級・中学二級の教員免許を持っていたこともあり、お引き受けした次第でございます。

事業を行うにはそのための資金の確保が必要になりますが、卒業生に働きかけ1040名の方から1700万円を超える寄付金を集めることが出来ました。他界された方、他市在住の方、住所の不明な方も多く、お声掛けにも難儀しましたが、役員各位に大変なお骨折りを頂き成果を残す事が出来ました。また、70周年記念事業の残金等がありましたので、合わせて2630万円を予算化し、そのうち700万円は学

校支援事業として寄付をするほか、記念誌作成や植樹、事務費などの費用としたところでした。

180ページに及ぶ創立100周年記念誌は高校で保管されている卒業アルバムや記録などの資料収集や整理に時間がかかりましたが学校側の協力や担当者の取り組みにより発刊出来、多くの方から良い評価を頂いております。今後、当校の歴史を振り返る中で、貴重な資料として引き継がれるものと思っています。卒業写真を見ると1回生2回生など、初期の頃は生徒は皆、和服姿で、昭和6年頃から洋服が見られるようになります。先生らしき人の中には口髭を生やしている人も居て、生徒は微笑んでいる人はほとんど居らず、皆、緊張した表情で写っております。時代の風潮を表しているように感じます。

記念の植樹は多くの参加者の下、2月に行われ、飯能の地名由来の説の一つと言われている「榛の木(ハンノキ)」と「しだれ桜」を校内に植樹しました。「榛の木」は“強く勇ましい”「しだれ桜」は“優美”を意味していると言われております。未来を担う当校生徒がその花言葉のように成長していくことを願っての記念樹です。先日、矢島校長とお会いした際、しだれ桜が咲いたとお聞きしました。

100周年記念式典は令和4年10月29日、埼玉県の大野知事や内沼県議等のご出席の下学校主催により飯能市市民会館で盛大に執り行われました。記念講演はベストセラー作家の坪田信貴氏にお願いしました。著書『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』が映画化され大ヒット、一躍時の人となった方です。在校生の多くはこの講演を聴き刺激を受けたのではないかと思います。

さて、一連の100周年記念事業を終えて本年3月25日に実行委員会の解散式を行いました。その席において、矢島校長からは、特別進学クラスを設置し、大学進学に力を入れると共に、時代に即した学校にしていきたいと伺い、大いに期待をしているところでございます。余談になりますが、矢島校長のお母様は飯能高校で私と同期生と聞き、ご縁を感じた次第です。

事の成功不成功は事前の準備で決まると言われます。今回の記念事業については多くの会議を経て、細部にわたり検討・準備をしてきたことで成功裡に終えることが出来たものと思います。実行委員各位には、長い間それぞれの役割に対し真摯に取り組んで頂いたことに感謝の念を禁じ得ないことを申し上げ、本日の卓話とさせていただきます。

2023年7月のプログラム

月 日	例会数	行事予定	当番 [担当委員会]
7. 5	3072	【四つのテスト】 【結婚・誕生日祝】 クラブ協議会	吉田(武)君 山川君 [会長・幹事]
7.12	3073	クラブ協議会	吉島君 矢島(尚)君 [会長・幹事]
7.19	3074	例会取消(祝日週)	
7.26	3075	【ロータリーの友】 クラブ協議会	吉田(行)君 吉澤君 [会長・幹事]